

救助隊の種類別の編成、NBC関連装備及び配置状況等

- ◆ 救助隊には、「救助隊」「特別救助隊」「高度救助隊」「特別高度救助隊」が存在し、概ね当該消防本部の管轄地域の人口規模に応じて、どの隊を編成するか総務省令で定められている。
- ◆ 4種類の救助隊のそれぞれの違いは、主に、装備すべき車両・資器材及び教育内容であり、NBC災害への対応力が異なる。

種類・配置	隊員教育・編成	保有車両	主な保有NBC関連資器材	整備市町村
救助隊 消防署の数の救助隊を配置	人命の救助に関する専門的な教育を受けた隊員5人以上で編成	救助工作車 (又はその他の消防用自動車)	※主に火災対応用資器材を活用 ・可燃性ガス測定器 ・防毒マスク	・消防本部及び消防署が設置されている消防常備市町村
特別救助隊 消防署の数の救助隊を配置	同上	救助工作車	上記資器材に加えて ・陽圧式化学防護服 ・化学防護服 ・放射線防護服・個人用線量計 ・除染シャワー・除染剤散布器 ・有毒ガス測定器 ・放射線測定器	・人口10万以上の市町村 ・人口10万未満の消防常備市町村で(中略)特に必要となると認められるもの
高度救助隊 特別救助隊のうち1隊以上配置	人命の救助に関する専門的かつ高度な教育(NBC災害対応含む。)を受けた隊員5人以上で編成	救助工作車	上記資器材に加えて +地域により △携帯用化学剤検知器 △携帯用生物剤検知器	・特別区、指定都市、中核市 ・消防庁長官が指定する消防常備市町村 ※自主設置可
特別高度救助隊 高度救助隊のうち1隊以上配置	同上	・救助工作車 ・特殊災害対応自動車(陽圧式等) +地域により △大型除染システム車 △ウォーターカッター車 △大型ブロアー車	上記資器材に加えて ・可搬型化学剤検知器(液体・固体用、気体用) ・生物剤検知器 +地域により △検知型遠隔探査装置(ロボット)	特別区及び指定都市 ※自主設置可

緊急・応急的対応のみ

+ホットゾーンでの救助・小規模除染対応可

+簡易検知対応可

+検知、大規模除染対応可

救助隊の体制

2011年4月1日現在の救助活動体制

- ◆ 救助隊数 1,502隊 (専任 562隊、兼任 940隊)
(うち一般の救助隊 904隊)
(うち特別救助隊 614隊)
- ◆ 救助隊員数 25,604人 (専任 8,436人、兼任 17,168人)



救助隊

- ◆ 救助隊 (消防署を設置している全消防本部に整備)
救助用ロープ、エンジンカッター、空気呼吸器、簡易画像探査機など一般的な装備
及び当該装備を積載することができる消防用自動車をも有する救助隊

エンジンカッター



空気呼吸器



救命索発射銃



携帯用コンクリート破壊器具



簡易画像探査機



特別救助隊

◆ 特別救助隊（人口10万以上の都市などに整備）

救助隊の一般的な装備に加え、陽圧式化学防護服などの特別な装備並びに救助工作車を有し、人命の救助に関する専門的な教育を受けた隊員で編成された救助隊。

大型油圧スプレッター



マット型空気ジャッキ



陽圧型化学防護服



放射線防護服



除染シャワー



救助工作車



高度救助隊

◆ 高度救助隊（中核市及び消防庁長官が指定する消防本部に整備）

救助隊及び特別救助隊の装備に加え、画像探索機、熱画像直視装置、地震警報器などの高度な装備及び当該装備を積載できる救助工作車を有し、人命の救助に関する専門的かつ高度な教育を受けた隊員で編成された救助隊

画像探索機



熱画像直視装置



地震警報器



特別高度救助隊

○ 特別高度救助隊（東京消防庁及び政令指定都市に整備）

救助隊、特別救助隊及び高度救助隊の装備に加え、大型ブローアなど特殊な災害に対応できる強力な装備を有し、特殊災害（NBC）対応自動車や専門的かつ高度な教育を受けた隊員で編成された救助隊

特殊災害対応自動車



検知型遠隔探査装置（ロボット）



大型除染システム車



化学剤検知器（液体・固体）



化学剤検知器（気体）



生物剤検知器



大型除染システム

